

第34回 明治神宮人形感謝祭を開催

人形に感謝する会



明治神宮人形感謝祭が3年ぶりに開催された

人形に感謝する会が主催する「第34回明治神宮人形感謝祭」が10月2日(日)に東京都渋谷区の明治神宮において開催された(後援/一般社団法人日本人形協会、協力/一般社団法人日本玩具協会・東京玩具人形協同組合・東京都ひな人形卸商協同組合・東京都雛人形工業協同組合・一般社団法人日本人形玩具学会、協賛企業・団体20社)。

同感謝祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2020年と2021年は中止を余儀なくされ、今年3年ぶりの開催となった。山田徳兵衛実行委員長は祭典の出席者に次のように挨拶した。

「どうにか3年ぶりに人形感謝祭を実施することができました。ここに来て感染症は少し落ちているようにみえますが、まだ完全に収束したとは言えない状況です。そうした中、皆様にはお集まりいただき、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。」



神職による祓いの「清祓の儀」



この納場。来た人が多かった。今年は約9300人が参加した。来年は通常開催を期待したい。

「どうぞいります。念には念を入れようということ、北白川慶子会長にはご出席を控えていただくこととなり、代わりに挨拶をする次第です。感染防止の為に一部内容を縮小せざるを得ない中、今できることを精一杯行おうとした覚悟で進めてきました。来年こそは例年通り、催しを実施できるように願いたい。」

続いて木下龍輝権宮司が挨拶。「晴天に恵まれ清々しい天候の中で開催となりました。人形をお納めしたくてもできない。お電話でたくさんのお問い合わせを頂戴したのも事実です。来年はもとの祭典が開催できることを願っております」と話した。

縮小した形式での実施となったため、祭典の内容は御霊あげ、神職による祓いの「清祓の儀」、玉串奉奠となり、巫女による神楽「浦安の舞」の奉奏は中止となり、祭典への一般参列も見送られた。また納められた人形の廻廊への陳列と、併催の「思いで人形展」も中止となった。

この日は雲一つない青空が広がる快晴となり、都内の最高気温は30℃近くまで上昇。例年通りの祭典とはいかなかったが、真夏日のような暑さのなかでも、人形やぬいぐるみを入れた袋を両手に持ち歩く運ぶ人の姿が境内の至るところで見掛けられた。

人形納めがスタートした朝9時から人は絶えず、長蛇の列ができる時間帯もあった。ひとがたに真剣な面持ちで記入する人や、奉納の際に長く手を合わせる人たちの姿が印象的だった。

「今できることを精一杯行おう」という山田委員長のことは通り、消毒と体温測定は必須で、感染対策が行われたなかでの人形納めとなった。今年の参加者は約9300人で、約51000体の人形類が納められた。来年は通常開催を期待したい。

人形感謝代行サービス
第18回感謝祭を斎行

(一社) 日本人形協会

一般社団法人日本人形協会は10月25日(火)、東京都千代田区の東京大神宮で「人形感謝代行サービス第18回感謝祭」を行った。

協会からは金林健史会長と小菅章次事務局長が参加。また人形感謝代行サービス協力企業の旭化成ホームズ(株)の宮里貴章氏と篠村安里沙氏が出席した。

祭典は厳かな雰囲気の中、拝殿にて執り行われた。修祓、斎主一拝、祝詞奏上に続き、雅楽の調べに合わせて巫女による「豊栄舞」が奉納された。その

後、参加全員が玉串を奉奠し、斎主一拝、斎主挨拶で御祈禱を終えた。感謝祭終了後は毎年、無事に人形供養が完了したことを知らせるハガキが申込者全員に郵送されている。同サービスは、日本人形協会と日本郵便(株)が提携して実施する事業で、毎年10月1日～9月30日に申し込みを受け付けている。方法は主にネット、ハガキ、人形店。

今年度は3008件で全国から人形類が到着。地域別の到着件数は左の表の通り。



北海道	47	滋賀	17
青森	9	京都	26
岩手	5	大阪	116
宮城	16	兵庫	78
秋田	5	奈良	16
山形	5	和歌山	11
福島	67	鳥取	2
茨城	48	島根	4
栃木	12	岡山	10
群馬	20	広島	27
埼玉	223	山口	8
千葉	236	徳島	7
東京	1193	香川	9
神奈川	365	愛媛	19
新潟	20	高知	10
富山	12	福岡	71
石川	49	佐賀	4
福井	5	長崎	16
山梨	12	熊本	10
長野	20	大分	19
岐阜	16	宮崎	4
静岡	56	鹿児島	31
愛知	36	沖縄	5
三重	11	合計	3,008

期間 / 2021.10.1 ~ 2022.9.30